

大人のアレルギー性鼻炎



アレルギー性鼻炎は通年性と季節性があります

通年性の原因・・・部屋のほこり、ダニ、ペットの毛

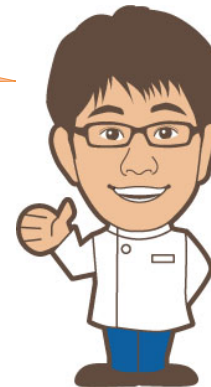
季節性の原因・・・スギ、ヒノキ、カモガヤ（イネ科）、ブタクサなどの花粉

くしゃみ発作

水のような鼻汁

鼻づまり

アレルギー性鼻炎と似た症状があっても、自己判断しないで、必ず耳鼻科を受診し正確な診断を受けることをおすすめいたします



花粉症では

目のかゆみ

充血

涙が出る



アレルギー性鼻炎の薬物治療の決め方



アレルギー性鼻炎のくすりの種類（内服薬）

抗ヒスタミン薬

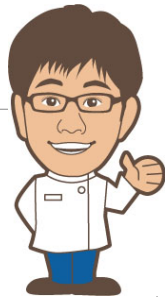
アレグラ クラリチン
ザイザル ジルテック
タリオン エバステル
アレロック

- 鼻汁・くしゃみに即効性があります
- 眠気の副作用があります
- 効果が強いほど、眠気が強いです
- 小児では、副作用として興奮や痙攣誘発も報告されているので注意が必要です
- きちんと内服しないと効果が十分ではありません

抗ロイコトリエン薬

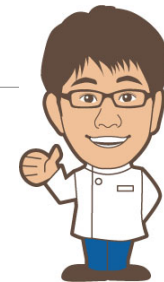
オノン
シングレア
キプレス

- 鼻閉に効果があります
- 効果が出るまでの期間が長いです（数日～数週間）
- 眠気はありません



セレスタミン

- 鼻汁・くしゃみ・鼻閉すべてに効果があります
- ステロイドと抗ヒスタミン薬の合剤です
- 効果は強いですが、副作用も多いです
- 重症例に4～7日の短期間使用します



り耳鼻咽喉科

アレルギー性鼻炎のくすりの種類（点鼻薬）

ステロイド点鼻薬

アラミスト
ナゾネックス
フルナーゼ



- 鼻がつまっているときや鼻汁が貯まっているときは効果が期待できないため、**鼻をかんでから使用して下さい**
- **即効性がないからといって、勝手にやめずに継続して使用して下さい**
- 全身の副作用は通常みられません
- 乳幼児では点鼻薬を嫌がることも多いのですが、重篤な副作用は報告されておらず、有効性が報告されています

血管収縮薬

- 1週間以内に限定して使用して下さい
- **ステロイド点鼻の数分前に併用して下さい**
- ステロイド点鼻の効果が出てきたら血管収縮薬を止めて下さい



り耳鼻咽喉科

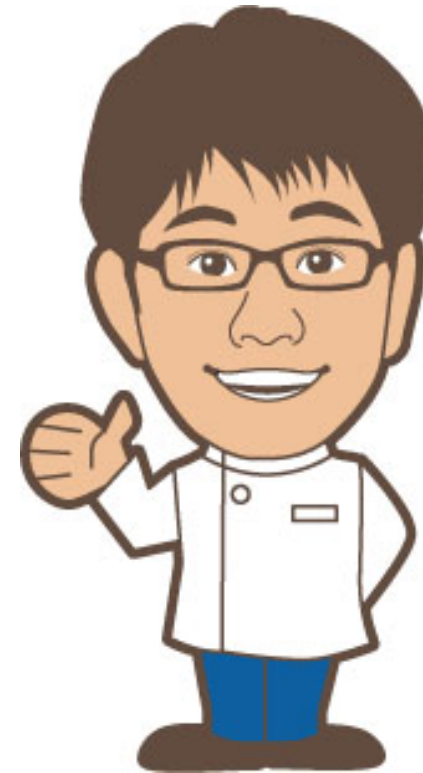
アレルギー性鼻炎治療の注意点です

アレルギー性鼻炎は自己管理が大切です

原因物質を除去することが基本です

内服薬は、指示通りにきちんと飲み続けることが大切なので、**症状が軽い日なども自己判断で飲むのをやめないように**しましょう

ステロイド点鼻薬も**点眼薬**も同様に**毎日継続**することが大切です



花粉症の早めの治療（初期治療）について

いつから始めたらいいの？



花粉が飛ぶ少し前（2週間程度前）から薬による治療をはじめましょう

始める時期は「2月の第1週から」が目安です

メリットは？

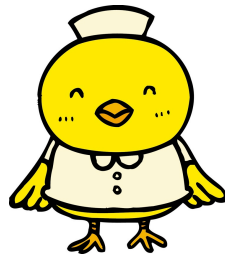


症状の出現を遅らせることができます

症状が出る期間を短くします

最盛期に使用する薬の量を減らします

注意点



例年の症状の程度によって薬は異なります

自分の症状にあった薬を処方してもらいましょう

内服だけではなく、点鼻薬、点眼薬も初期治療に有効です



り耳鼻咽喉科